

○ 漁業協同組合等の自己資本の充実の状況等についての開示事項（平成十九年金融庁・農林水産省告示第五号）

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に対応して掲げるその標記部分に二重傍線を付した規定（以下「対象規定」という。）は、その標記部分が同一のものは当該対象規定を改正後欄に掲げるもののように改め、改正前欄に掲げる対象規定で改正後欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを削り、改正後欄に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。

（注）令和三年三月三十一日公表の改正案適用後のもの。

改正後	改正前
<p>（単体自己資本比率を算出する場合における事業年度の開示事項）</p> <p>第二条 「略」</p> <p>2 「略」</p> <p>3 第一項の定性的な開示事項は、次に掲げる事項とする。</p> <p>「一〇六 略」</p> <p>六の二 CVAリスクに関する次に掲げる事項</p> <p>イ CVAリスク相当額の算出に使用する手法（SA CVA、完全なBA CVA、限定的なBA CVA又は簡便法）の名称及び各手法により算定される対象取引の概要</p> <p>ロ CVAリスクの特性及びCVAに関するリスク管理体制の概要（CVAリスクのヘッジ方針及びヘッジの継続的な有効性を監視するための態勢を含む。）</p> <p>ハ SA CVA採用組合にあつては、次に掲げる事項</p> <p>(1) CVAに関するリスク管理体制の概要（理事の関与の仕組みを含む。）</p>	<p>（単体自己資本比率を算出する場合における事業年度の開示事項）</p> <p>第二条 「同上」</p> <p>2 「同上」</p> <p>3 「同上」</p> <p>「一〇六 同上」</p> <p>「号を加える。」</p>

(2) CVAに関するリスク管理体制が有効に機能するた
めの経営管理体制の概要（CVAに関するリスク管理
の状況を示す書類の作成及び報告状況、CVAエクス
ポージャーモデル検証部署の関与状況並びに内部監査
部署の関与状況を含む。）

〔七〇九 略〕

4 第一項の定量的な開示事項は、次に掲げる事項とする。

一 自己資本の充実度に関する次に掲げる事項

〔イ〇ハ 略〕

二 CVAリスクに対する所要自己資本の額及びこのうち

組合が使用する次に掲げる手法ごとの額

(1) SA|CVA

(2) 完全なBA|CVA

(3) 限定的なBA|CVA

(4) 簡便法

ホトト 「略」

〔二〇五 略〕

五の二 CVAリスクに関する次に掲げる事項

イ BA|CVAを用いてCVAリスク相当額を算出する

組合にあつては、次に掲げる算出手法の区分に応じ、そ
れぞれ次に定める事項

(1) 完全なBA|CVA 自己資本比率告示第二百四十

六条の三の三に定める $K_{reduced}$ 及び K_{hedged} におけるそれ

ぞれのCVAリスク相当額を八パーセントで除して得
た額並びにこれらの合計額

〔七〇九 同上〕

4 〔同上〕

一 〔同上〕

〔イ〇ハ 同上〕

〔号の細分を加える。〕

ホトト 「同上」

〔二〇五 同上〕

〔号を加える。〕

(2) 限定的なB A | C V A 自己資本比率告示第二百四十六條の三の四の規定により算出する第二百四十六條の三の三に定めるK_{return}の算式における取引先共通の要素及び取引先固有の要素の額及び限定的なB A | C V Aにより算出したC V Aリスク相当額を八パーセントで除して得た額

「六〇八 略」

5

「略」

(連結自己資本比率を算出する場合における連結会計年度の開示事項)

第三条 「略」

2 「略」

3 第一項の定性的な開示事項は、次に掲げる事項とする。

「一〇七 略」

七の二 C V Aリスクに関する次に掲げる事項

イ C V Aリスク相当額の算出に使用する手法 (S A | C V A、完全なB A | C V A、限定的なB A | C V A又は簡便法) の名称及び各手法により算出される対象取引の概要

ロ C V Aリスクの特性及びC V Aに関するリスク管理体制

「六〇八 同上」

5

「同上」

(連結自己資本比率を算出する場合における連結会計年度の開示事項)

第三条 「同上」

2 「同上」

3 「同上」

「一〇七 同上」

「号を加える。」

制の概要（CVAリスクのヘッジ方針及びヘッジの継続的な有効性を監視するための態勢を含む。）

ハ SA|CVA採用組合にあつては、次に掲げる事項

(1) CVAに関するリスク管理体制の概要（理事の関与の仕組みを含む。）

(2) CVAに関するリスク管理体制が有効に機能するための経営管理体制の概要（CVAに関するリスク管理の状況を示す書類の作成及び報告状況、CVAエクスポージャーモデル検証部署の関与状況並びに内部監査部署の関与状況を含む。）

〔八〇十 略〕

4 第一項の定量的な開示事項は、次に掲げる事項とする。

一 〔略〕

二 自己資本の充実度に関する次に掲げる事項

〔イ〇ハ 略〕

ニ CVAリスクに対する所要自己資本の額及びこのうち組合が使用する次に掲げる手法ごとの額

(1) SA|CVA

(2) 完全なBA|CVA

(3) 限定的なBA|CVA

(4) 簡便法

ホ〇ト 〔略〕

〔三〇六 略〕

六の二 CVAリスクに関する次に掲げる事項

イ BA|CVAを用いてCVAリスク相当額を算出する組合にあつては、次に掲げる算出手法の区分に応じ、それぞれ次に定める事項

〔八〇十 同上〕

4 〔同上〕

一 〔同上〕

二 〔同上〕

〔イ〇ハ 同上〕

〔号の細分を加える。〕

ニ〇へ 〔同上〕

〔三〇六 同上〕

〔号を加える。〕

〔七〇九 略〕

- (1) 完全な $B A \mid C V A$ 自己資本比率告示第二百四十六条の三の三に定める $K_{Reduced}$ 及び K_{Hedged} におけるそれぞれ $C V A$ リスク相当額を八パーセントで除して得た額並びにこれらの合計額
- (2) 限定的な $B A \mid C V A$ 自己資本比率告示第二百四十六条の三の四の規定により算出する自己資本比率告示第二百四十六条の三の三に定める $K_{Reduced}$ の算式中における取引先共通の要素及び取引先固有の要素の額並びに限定的な $B A \mid C V A$ により算出した $C V A$ リスク相当額を八パーセントで除して得た額
- ロ $S A \mid C V A$ 採用組合にあつては、自己資本比率告示第二百四十六条の四の七第二項に定めるリスク・クラスごとに $S A \mid C V A$ で算出した $C V A$ リスク相当額を八パーセントで除して得た額及びこれらの合計額並びに $S A \mid C V A$ の対象となる取引相手方の先数

〔七〇九 同上〕